

## 議題 3

# 第3回「核兵器廃絶—地球市民集会ナガサキ」概要書

1 開催趣旨 1945年8月9日原子爆弾の投下により悲惨な体験をした長崎で、過去2度、核兵器廃絶をテーマとする NGO 集会「地球市民集会ナガサキ」を開催いたしました。この2度の開催で世界の15カ国から延べ12,000人も市民や NGO が参加し、分科会などで熱心な意見交換が行われました。それぞれの最終日に採択した「長崎アピール」は、国連をはじめ世界の主な国々に届けられ、核兵器廃絶運動に大きな力を与えたものと思います。

しかしながら、2005年5月、ニューヨークで開催された NPT 再検討会議では、我々の願いが叶わず何の進展もなく閉幕いたしました。この現状を打破し核兵器廃絶と世界平和のため、どのように取り組むべきかを論議し、2010年に行われる次回のNPT再検討会議の成功に向け、今年10月21日から23日までの3日間、第3回「核兵器廃絶—地球市民集会ナガサキ」を開催いたします。

2 サブテーマ「平和への 願いだけでは かわらない」

3 時 期 平成18年10月21日(土)・22日(日)・23日(月)

4 主 催 核兵器廃絶地球市民長崎集会実行委員会(市民・長崎県・長崎市・財団法人長崎平和推進協会)

5 開催日程等

場所	日付		分科会名	テーマ
ブリックホール	10/21 (土)	午前	分科会①：非核宣言自治体フォーラム	非核宣言自治体活動の活性化と国際的連携
		午後	開会集会	海外報告・基調講演等
原爆資料館ホール	10/22 (日)	午前	分科会②：非核兵器地帯と核の傘	非核兵器地帯の意義と北東アジアにおける挑戦
		午後	分科会③：核兵器廃絶と多国籍交渉	核兵器廃絶に向けた世界の動きと日本の役割
平和会館ホール	10/22 (日)	午前	分科会④：平和教育フォーラム	平和教育推進に向けた取り組みと課題
追悼平和祈念館		午後	分科会⑤：青少年フォーラム	核兵器廃絶に向けた若者のアプローチ
平和会館ホール	10/23 (月)	午前	分科会⑥：被爆者フォーラム	核兵器廃絶へ向けた被爆者運動の今後と被爆体験の継承
平和会館ホール		午後	閉会集会	長崎アピール採択

6 海外からの参加者

○レベッカ・ジョンソン (イギリス・アクロニム軍縮外交研究所所長)	○ジョン・バロース (アメリカ・LCNP事務局長) ※LCNP=「核政策に関する法律家委員会」
○デビッド・クリーガー (アメリカ・核時代平和財団会長)	○ジャルガルサイハン・エンクサンハン (モンゴル・元国連常駐大使)
○権赫泰 [クオン・ヒョクテ] (韓国・聖公会大学教授)	○アチン・バナイク (インド・デリー大学政治学部教授)
○キャスリーン・サリバン (アメリカ・核軍縮教育・行動プロジェクトコーディネーター)	○ジャッキー・カバツソー (アメリカ・西部諸州法律財団事務局長)
○ケイト・デュース (ニュージーランド・国際平和ビューロー副会長)	○アラン・ウエア (ニュージーランド・核軍縮議員ネットワークコーディネーター)

7 その他 各種イベント・NGO ブース等を実施予定

8 事務局 平和会館2階(〒852-8117 長崎市平野町7-8)

Tel 842-9513 844-8580 Fax 844-1954